

トピックス 赤岩川橋 橋梁架設が完了しました

日向ICのすぐ横で建設工事を実施していました赤岩川橋は、日向～都農間で田久保川橋に次ぐ2番目の橋長(471.5m)です。架設工事は、平成22年9月に開始し平成24年2月に完了しました。架設期間は1年6カ月、鋼材重量はおよそ2020tです。鋼桁架設に伴う一般道の交通規制では、地元の皆様にご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

今後も工事は続きますが、『一日も早い東九州道の完成』を目指し頑張ります！！



【全景 日向側より】

【全景 側面から】

【トラッククレーンにて鋼桁を架設】

トピックス ~ 延岡市よりの観光便り ~

■延岡大師祭

日時：4月13日(土)～15(日)
場所：今山大師寺

◆パレード(中川原町～祇園町～安賀多町) ◆物産展(今山参道線(高千穂通))
内容：高さ日本一を誇る弘法大師像がある今山で、3日間にわたる大法要や、舞踊、演芸大会が行なわれるほか、お大師さんならではのお接待(ふるまい)が行なわれます。市街地ではパレードや物産展が行なわれるほか、見立て細工が展示されるなど、まち全体がまつり一色となります。

問合せ先：今山大師寺(TEL:0982-32-5290) ※今山での催しに関すること。
延岡商工会議所(TEL:0982-33-6666) ※パレードに関すること



■ゴールデンゲームズinのべおか

日時：5月12日(土) ※時間未定
場所：西階陸上競技場

内容：毎年5月に行なわれるヨーロッパスタイルのトラックレースです。地元旭化成陸上部や国内外のトップアスリートが、記録を目指して白熱のレースを展開します。観客席がコースのすぐ近くまで迫り、選手の足音や息遣いまで聞こえてくるほどです。ナイター照明の下、看板を打ち鳴らしながらの応援で、会場は熱気に包まれます。

問合せ先：ゴールデンゲームズinのべおか実行委員会(TEL:0982-21-1979)



発行者

西日本高速道路株式会社 九州支社 延岡高速道路事務所

〒889-0603 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草字堂ケ内53-10

TEL0982-63-2255(代) FAX0982-63-4950

延岡高速道路事務所では、宮崎県内の東九州道 日向IC～都農IC間の建設事業と延岡南道路及び東九州道門川IC～日向IC間の道路管理事業に携わっております。



東九州自動車道(日向～都農間)建設予定地での発掘調査結果の一部を紹介します～弥生時代の住居跡～

※高速道路の建設予定地内に埋蔵文化財の包蔵地がある場合は、県の埋蔵文化財センターにて発掘調査を実施しています。

★遺跡の位置は裏面をご確認ください。

都農町 木戸平(きとのひら)第2遺跡 「都農川の岸辺の弥生ムラ」



焼失した3号竪穴住居跡



木戸平第2遺跡出土遺物



0.5mm

1mm

出土した玉飾り

野ブドウ

イネ

管玉

炭化した種実(住居床面出土)

遺跡は都農川右岸に立地しています。弥生時代終末～古墳時代初頭(約1,800年前)にかけての、竪穴住居跡5軒が発見されました。このうち4軒の住居では炭化した構造材が多数出土し、故意か失火による火災に遭ったと考えられます。炭化した木材はイヌガヤ・ツブラジイ・クヌギ等でした。

日向市東郷町 向原中尾(むこうばるなかお)第2遺跡 「丘陵上に住んだ弥生の農耕民」



遺跡全景



焼け落ちた住居跡(3号住居跡)



稲穂を摘む石器(石庖丁)



炭化した穀物

上:イネ、下:アワ

日向灘を望む丘陵上で7軒の竪穴住居跡が発見されました。そのうち4軒からは炭化した構造材が出土しており、何らかの理由で焼失したと考えられます。炭化した構造材(年代測定の結果、約1,800年前と判明)はアワブキ・ツブラジイ・ハイノキ等でした。これらは当時の遺跡周辺で採取が可能な木です。住居からは、甕・壺・高坏等の土器や、石庖丁・敲石・砥石等の石器が出土しました。また、住居の床土からは炭化したイネやアワ等の栽培植物が出土しており、遺跡周辺で農耕を行っていた可能性が考えられます。

【資料提供と解説】宮崎県埋蔵文化財センター

東九州自動車道 日向IC～都農IC間の状況 ～東九州道全通に向けて頑張っています～



【施工状況】

赤岩川橋



本村トンネル



下原川



上町川橋



【完成予想図】



注)橋名・トンネル名は仮称